※令和３年度以前入学生用

学校番号	2102

令和５年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅲb	単位数	１単位	年次	全年次 (数学Ⅱ（3 単位)履修後)
使用教科書	「改訂版　最新　数学Ⅲ」（数研出版）						
副教材等	「改訂版　教科書傍用　３ROUND　数学Ⅲ」（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対してみずから考え、考える力を養います。
・使う公式を考え、実際に計算し、求める解答を導くといった、問題解決能力を身につけます。

２　学習の到達目標

積分法について知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、論理的思考能力を育成するとともに、それらを活用する態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	数学的活動を通して，積分法に関心をもつとともに，数学的な見方や考え方のよさを認識し，それらを事象の考察に活用しようとしている。	数学的活動を通して,積分法の考えにおける数学的な見方や考え方を身につけ,事象を数学的に捉え，論理的に考察し，表現するとともに,過程を振り返り多面的・発展的に考える。	数学的活動を通して，積分法の考えにおいて，事象を数学的に考察し，処理する仕方や推論の方法を身につけ，的確に問題を解決する。	数学的活動を通して，積分法の考えにおける基本的な概念，原理・法則，用語・記号などを理解し，基礎的な知識を身につけている。
評価方法	確認テスト プリント 小テスト 観察等	確認テスト プリント 小テスト 観察等	確認テスト プリント 小テスト 観察等	確認テスト プリント 小テスト 観察等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、後期末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前・後期　前半	積分法とその応用	１節　不定積分 不定積分とその基本性質 置換積分法と部分積分法 いろいろな関数の不定積分	 ○ ○	 ○ 	 ○	 ○ ○	a;不定積分の有用性を認識し，事象の考察に活用しようとしている。 b:不定積分を用いて事象を考察し表現したり，その過程を振り返ったりすることなどを通して数学的な見方や考え方を身につけている。 c:不定積分を用いて，さまざまな不定積分を求めることができる。 d:不定積分における基本的な概念を理解し，知識を身につけている。	確認テスト プリント 小テスト 観察等
		２節　定積分 定積分とその基本性質 定積分の置換積分と部分積分法 定積分と極限・不等式	 ○ ○ 	 ○	 ○ 	 ○ ○ ○	a:定積分に関心をもつとともに，それらの有用性を認識し，事象の考察に活用しようとしている。 b:定積分を用いて事象を考察し表現したり，その過程を振り返ったりすることなどを通して数学的な見方や考え方を身につけている。 c:定積分を用いて,様々な関数の定積分を求めることができる。 d:定積分における基本的な概念を理解し，知識を身につけている。	確認テスト プリント 小テスト 観察等

※令和３年度以前入学生用

前・後期 後半		３節　積分法の応用 面積 体積 速度と道のり 曲線の長さ	 ○ 	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○ ○	a：積分における面積や体積の求め方にも関心をもつとともに，それらの有用性を認識し，事象の考察に活用しようとしている。 b：積分における面積や体積の求め方を用いて事象を考察し表現したり，その過程を振り返ったりすることなどを通して数学的な見方や考え方を身につけている。 c：積分を用いて，面積や，体積を求めることができる。 d：積分における面積や体積の求め方の概念を理解し，知識を身につけている。	確認テスト プリント 小テスト 観察等

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:数学的な見方や考え方
c:数学的な技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。